○登録有形文化財（建造物）に新たに登録される建造物の概要

法蓮寺　10件

名　　称	法蓮寺本堂［ﾎｳﾚﾝｼﾞﾎﾝﾄﾞｳ］
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建築年代	江戸時代中期／天保13年（1842）改修
登録基準	２　造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積245㎡
名　　称	法蓮寺書院[ﾎｳﾚﾝｼﾞｼｮｲﾝ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建築年代	天保10年（1839）
登録基準	２　造形の規範となっているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積130㎡
名　　称	法蓮寺庫裏［ﾎｳﾚﾝｼﾞｸﾘ］
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建築年代	天保４年（1833）/昭和38年改修
登録基準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋一部二階建、瓦葺、建築面積243㎡
名　　称	法蓮寺鐘楼[ﾎｳﾚﾝｼﾞｼｮｳﾛｳ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建築年代	明治３年
登録基準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積13㎡
名　　称	法蓮寺土蔵[ﾎｳﾚﾝｼﾞﾄﾞｿﾞｳ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建築年代	大正１１年
登録基準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	土蔵造二階建、瓦葺、建築面積30㎡

名　　称	法蓮寺地蔵堂[ﾎｳﾚﾝｼﾞｼﾞｿﾞｳﾄﾞｳ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建 築 年 代	明治10年
登 録 基 準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積6.6㎡
名　　称	法蓮寺護摩堂[ﾎｳﾚﾝｼﾞｺﾞﾏﾄﾞｳ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建 築 年 代	明和３年（1766）/明治10年改修、昭和61年改修
登 録 基 準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積20㎡
名　　称	法蓮寺井戸屋形[ﾎｳﾚﾝｼﾞｲﾄﾞﾔｶﾀ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町字北出538
建 築 年 代	明治２年
登 録 基 準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造平屋建、瓦葺、建築面積4.0㎡
名　　称	法蓮寺山門[ﾎｳﾚﾝｼﾞｻﾝﾓﾝ]
員　　数	１棟
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町538
建 築 年 代	享保12年（1727）/平成22年改修
登 録 基 準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	木造、瓦葺、袖壁付、間口3.3m
名　　称	法蓮寺土塀及び石垣[ﾎｳﾚﾝｼﾞﾄﾞﾍﾞｲｵﾖﾋﾞｲｼｶﾞｷ]
員　　数	１基
所　在　地	滋賀県東近江市五個荘木流町字北出538
建 築 年 代	江戸時代前期
登 録 基 準	１　国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式並びに大きさ	土塀、瓦葺、延長38m

特 徴・評 価	法蓮寺は五個荘（ごかしょう）駅南方に境内を構える天台真盛宗寺院です。境内中央に本堂が南面し、西に書院、更に南西に庫裏を配し、庫裏の北西に土蔵が接続しています。 本堂は入母屋造本瓦葺で正面に一間の向拝が付きます。内外陣境及び内陣廻りは彫刻や彩色で彩られます。脇間と内陣境に中敷居を設けるなど、古式な仏堂です。 書院は入母屋造妻入で、正面に入母屋造の玄関が付きます。奥の座敷、次の間（仏間）を主体とし、部屋境に仙人の彫刻欄間を配し、北、西面に庭を望む縁を廻します。 庫裏は切妻造桟瓦葺で南寄りに煙出を設け、西面を除く三方に下屋を廻した建物です。 鐘楼は境内南東隅に建ち、組物は出組を詰組とし、中備に蟇股を置きます。内部は天井桁を廻し彫刻付板支輪の折上格天井を張るなど豊かな装飾を見せています。 境内西辺に建つ土蔵は蔵前で庫裏と接続しています。漆喰塗で、腰下は竪板張の建物です。 鐘楼と本堂の間に地蔵堂、護摩堂が並んでいます。地蔵堂は方一間、二重、宝形造桟瓦葺で屋根に火焔宝珠を置き、正面を向拝とし背面は軒下まで建物を取り込んでいます。 護摩堂は桁行三間梁間一間入母屋造妻入の内陣正面に、棟を下げて桁行二間入母屋造の外陣を接続します。内部は内陣背面寄りに護摩壇と仏壇があります。 本堂南西に建つ井戸屋形は四方を吹放ちとし、内部は南北に井戸、手水鉢を配して竿縁天井を張ります。 境内正面に開く山門は一間薬医門で両脇に袖塀が付き、西側は潜門を開きます。板唐戸を吊り、両妻は板蟇股で飾り、中央は間斗束で化粧棟木を受けます。 石垣と土塀は境内南辺を区画しています。石垣は正面を打込矧ぎ積み、背面は野面積みで胸高まで積み、漆喰塗桟瓦葺の土塀を載せています。 法蓮寺は当地域を代表する天台真盛宗寺院であり、本堂、書院を始め江戸時代中期以降に復興された諸建築が良好な保存状態で伝えられており、地域の歴史的遺産として高く評価されるものです。



法蓮寺本堂_正面（南面）外観



法蓮寺書院_玄関正面(南面)外観



法蓮寺庫裏_上座敷床の間（西より望む）



法蓮寺鐘楼_正面（北面）外観



法蓮寺土蔵_西側道路北から北西外観



法蓮寺地蔵堂_正面（北面）外観



法蓮寺護摩堂_正面外観（西から望む）



法蓮寺井戸屋形_南面外観



法蓮寺山門_正面(南面)外観



法蓮寺土塀及び石垣_全体外観